

1. 民主政                      2. 絶対王政                      3. 神権政治                      4. 共和政

1. 黄河や長江の流域で青銅器文化が発達し、亀の甲羅などに甲骨文字が刻まれた。
2. ティグリス川とユーフラテス川の増水時期を予測する必要から、天文学が発達し、太陰暦や六十進法が生まれた。
3. ナイル川の定期的な氾濫を管理するために、測量術が発達し、太陽暦や象形文字が使われた。
4. インダス川流域で都市文明が発達し、印章などに刻まれた独自の未解読文字が使われた。

1. ナイル川の氾濫を予測するために天文学が発達し、その計算結果を記録するために文字が独占的に使われた。
2. 農作業を効率化するために鉄製の農具が広く普及し、土地の所有権を明確にするために文字が発明された。
3. 巨大な王の墓を建設する際の労働力を管理するため、石碑にその功績とともに文字が刻まれた。
4. 王が政治や軍事の重要な決定を行うための占いの記録に文字が使われ、祭祀の道具として青銅器が発達した。

1. イタリア半島を拠点としながらも、共和制を経験せずに最初から強力な皇帝による専制政治が行われた。
2. 地中海東岸で興り、シルクロードを通じて中国の長安と直接的な政治同盟を結んでいた。
3. 紀元前6世紀に共和制が始まり、地中海沿岸の広い地域を統一して巨大な帝国へと発展した。
4. 紀元前6世紀に直接民主政を確立し、地中海統一後も小規模な都市国家の連合体を維持した。

1. 長安・洛陽      2. メンフィス・テーベ      3. アテネ・スパルタ      4. ローマ・カルタゴ

1. 法を文章化して明示することで、支配者の主観による不公平な裁判を防ぎ、多民族が混在する広大な領土を安定して統治しようとした。

2. カースト制度と呼ばれる厳格な身分秩序を法的に正当化し、宗教的な儀礼を遵守させることで、都市の衛生状態を保とうとした。

3. 身分制度を完全に否定し、すべての人々が法の下で平等であることを宣言することで、市民による民主的な政治を実現しようとした。

4. ナイル川の氾濫を予測する天文学と結びつけ、農業の時期を厳格に管理することで、神の化身としての王の権威を強化しようとした。

1. インドス川流域で見つかった石の印章などに刻まれており、現在も解読が進んでいない文字である。
2. メソポタミアで発達し、粘土板に葦の茎を押し当てることで鋭い直線の組み合わせとして表現された。
3. エジプトで発達し、パピルスと呼ばれる紙のような材料に宗教儀礼の内容などが記された。
4. 亀の甲羅や動物の骨に刻まれた象形文字であり、東アジアで広く使われる漢字の起源となった。

1. イスラム教の教えを共通の精神的基盤として砂漠地帯で発展した

2. 季節風の影響を強く受ける東アジアの沿岸部でのみ成立した

3. 天体観測に基づき、すべての文明が太陽暦を主な暦として使用した

4. 農耕に適した肥沃な土地が得られる大河の流域で成立した

1. シルクロードを通じた西方との貿易を独占するために、関所としてのみ活用された。
2. 匈奴などの北方遊牧民族の侵入を防ぐために、大規模な防衛線として築かれた。
3. 日本から派遣された遣隋使や遣唐使が、最先端の都の造りを学ぶための手本となった。
4. 農業生産を高めるために、黄河の氾濫を抑える目的で建設された。

1. ステップの道（草原の道）      2. シルクロード（絹の道）      3. 茶馬古道      4. 海の道（香辛料の道）

1. 中国から西方へ絹織物が運ばれる一方で、西方からはぶどうなどの産物や仏教が伝わり、内陸のオアシス都市が中継地として栄えた。
2. 中国の特産品である綿織物をヨーロッパへ届けるため、内陸部に大規模な鉄道網が整備され、敦煌などの都市が工業都市として発展した。
3. 地中海沿岸で生産された絹織物を中国へ運ぶことを主目的として、アジア諸国が協力して広大な交易路を管理・運営した。
4. 西方から中国へ紙の製造技術が伝えられたことで、中国国内での仏教の布教が急速に進み、シルクロード沿いに寺院が建立された。

1. イスラム教                      2. ヒンドゥー教                      3. キリスト教                      4. 仏教

1. ルネサンス                      2. ギルド                      3. 十字軍                      4. 宗教改革